

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高齢介護課  
 担当名: 施設整備担当  
 内線: 3260

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B32	特別養護老人ホーム等整備促進事業費			一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉施設費	老人福祉施設整備助成費		
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	老人福祉法第15条、第24条			戦略項目	02 介護の安心			
						分野施策	010201 高齢者が安心して暮らせる社会づくり			
<b>1 事業概要</b> 社会福祉法人等へ施設整備費を助成することにより、特別養護老人ホームの整備を促進するとともに、老朽化した特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの居室環境等の改善を図り、要介護高齢者の福祉の向上を図る。				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 介護を要する方が安心して高齢社会を過ごせるよう、セーフティーネットとして特別養護老人ホームを整備する。老朽化した特別養護老人ホームの居室環境等を改善することにより、要介護高齢者の福祉の向上を図る。						
(1) ユニット型整備分 283,140千円 (2) 混合型従来型整備分 17,280千円 (3) 老朽化施設の居室環境等の改善 404,495千円				(2) 事業計画 ユニット型整備分 平成25～平成26年度整備: 22施設、特養2,069人、ショート159人 平成26～平成27年度整備: 7施設、特養730人、ショート20人 混合型従来型整備分 平成25～平成26年度整備: 3施設、特養260人、ショート0人 平成26～平成27年度整備: 2施設、特養220人、ショート0人 老朽化施設の居室環境等の改善 平成25～平成26年度整備: 1施設、特養110人、ショート0人 平成26～平成27年度整備: 0施設、特養0人、ショート0人 平成26年度単年度整備: 7施設、特養412人						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県 = 補助基準額の10/10) 事業者 = 実整備額から県補助額を除いた額				(3) 減額理由 事業計画の中止による減(2施設、190人) 補助金辞退による減(1施設、10人) 大規模修繕における執行残額(7施設)						
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(補正係数) (区分) 高齢者保健福祉費 施設整備事業(一般財源化分)の70%										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円 × 19.5人 = 185,250千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		県債								
決定額	704,915	705,000						85	7,217,161	
現計額	7,922,076	7,921,000						1,076		